

平成 28 年度 第 2 回 よこはま多世代・地域交流型住宅整備・運営事業者選定等委員会 議事録	
日 時	平成 29 年 3 月 21 日 (火) 10 時 30 分～11 時 00 分
開 催 場 所	ココファン横浜鶴見 地域交流スペース
出 席 者	青木委員、越智委員、松岡委員、村井委員、矢田委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開 (傍聴者なし)
議 題	1 民有地活用型認定制度の認定状況等について、2 その他

議事要旨	
	<u>1 民有地活用型認定制度の認定状況等について</u>
事 務 局	資料に基づき、「南万騎が原駅周辺リノベーションプロジェクト」及び「地域課題解決に向けた持続可能な住宅地モデル事業【横浜 MID ベース】」の認定状況について説明 (報告)。
	(主な意見等)
青 木 委 員	リノベーション案件に対しては、既存建物の耐震を確認したうえで認定すること。
越 智 委 員	一つの計画に対して様々な運営事業者が関わってくる場合、計画事業者には全体をコーディネートする機能を備えていただきたい。そして、運営開始後にも事業の趣旨を引き継いでいただきたい。 病児保育事業等、働く世代に向けた子育て支援の機能を住宅の中に備えることも求められていると思う。
矢 田 委 員、 松 岡 委 員	多世代・地域交流型住宅の整備とともに、住替え支援や空き家対策も考える必要がある。
村 井 委 員	「地域」を認定した住宅のみでとらえるのではなく、その周辺エリアとの関係性も考慮すべき。
松 岡 委 員	民間事業者には、計画の段階から地域交流の中身についても検討を進めていただきたい。また、自治会の組織や地域の情報共有の方法等について考えていただきたい。
村 井 委 員、 越 智 委 員	関係する事業者同士の連携により、柔軟な運営、地域交流が行われると良い。
	<u>2 その他 (ココファン横浜鶴見の運営状況報告)</u>
事 務 局	ココファン横浜鶴見の運営状況について説明。(資料無し)
	(主な意見等)
	特になし

配 布 資 料	1 会議次第 2 横浜市記者発表資料（平成 29 年 1 月 26 日）
---------	---